

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	14-044	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>A multisite randomized controlled trial of brief intervention to reduce drinking in the trauma care setting: how brief is brief?</p> <p>トラウマケアにおける飲酒を減らすための簡単な介入のマルチサイト RCT : どのくらい簡単なのか?</p>		
執筆者		
Field C, Walters S, Marti CN, Jun J, Foreman M, Brown C.		
掲載誌		
Ann Surg. 2014 May;259(5):873-80. doi: 10.1097/SLA.0000000000000339.		
キーワード		PMID
RCT、トラウマケア、介入、飲酒の減少		24263324
要 旨		
<p>目的： 事故による怪我の後でアルコールの誤用を減らす最も効果的で簡単な介入方法の内容については良く知られていない。本研究では、怪我をした患者において過度の飲酒の減少を目的とした3つの簡単な介入方法の効果を明らかにすることである。</p> <p>方法： 3つの救命センター外傷患者が、重度の飲酒のスクリーニングを受け、無作為に A : 簡単なアドバイス(200人)、B : 簡単な動機づけ(203人)、C : 簡単な動機づけに加えて電話による個別化フィードバック(193人)が割り付けられた。これらの無作為に割り付けられた患者の中の57%が中等度から重症のアルコール問題の診断基準に合致していた。3か月目、6か月目、12か月目に飲酒量について評価した。</p> <p>結果： 3つの方法を比較したところ、Cが平均的な飲酒量を減らすことが有意に示された。週当たりの飲酒単位は3か月目では1.22単位の減少(95%CI: -0.99~-1.49、P=0.01)、6か月目では1.42単位の減少(-1.14~-1.76、P=0.02)が見られた。1日における最大飲酒量が3か月目では1.38単位の減少(-1.18~-1.62、P=0.003)、12か月目では1.71単位の減少(-1.47~-1.99、P=0.02)、飲酒日の平均的な飲酒量は、3か月目では1.49単位の減少(-1.35~-1.65、P=0.002)、6か月目では1.28単位の減少(-1.17~-1.40、P=0.01)がみられた。</p> <p>結論： 動機づけをベースにした短時間の介入と、電話による個別フィードバックは、3つのトラウマセンターにおける飲酒量の減少に最も効果があった。</p>		